

議会だより



撮影者：フォト集団オリーブ 竹村 進

大きなあれ！

- 審議議案 3月定例会について 2～5
- 一般質問 11人の議員が質問 5～13
- 小学生議会 14・15
- 議会日誌 16

人が集い、元気なまちを目指して

令和3年度一般会計 94億9700万円 可決

3月定例会を3月3日から3月17日まで15日間開催しました。

初日に、町長の施政方針の演説があり、「人が集い、元気なまち」を目指して5つの分野に予算を編成していくことについて表明がありました。

当初予算案件7件をはじめ、補正予算案件5件、条例案件1件、人事案件7件、契約案件2件、その他案件1件が提案されたほか、報告2件、発議1件がありました。当初予算案件7件は各常任委員会に付託され慎重に審議されました。全ての議案は原案通り可決しました。

令和3年度 主な事業

産 業

紅雲亭公衆トイレ整備	4,392万円
地域ブランド確立推進	1,800万円
瀬戸内国際芸術祭2022	1,158万円
福武ハウス進入道路整備	915万円
農産物海上輸送費支援	110万円



瀬戸内国際芸術祭の作品



テレビ電話健康相談

健康・福祉

新型コロナウイルスワクチン接種	6,214万円
妊婦応援給付金	700万円
子育て応援給付金	420万円
施設のバリアフリー化支援	400万円
テレビ電話健康相談	285万円

行財政改革

人事評価運用支援	139万円
防災・危機管理体制の強化	53万円



防災・危機管理体制研修



B & G体育館

教育・文化

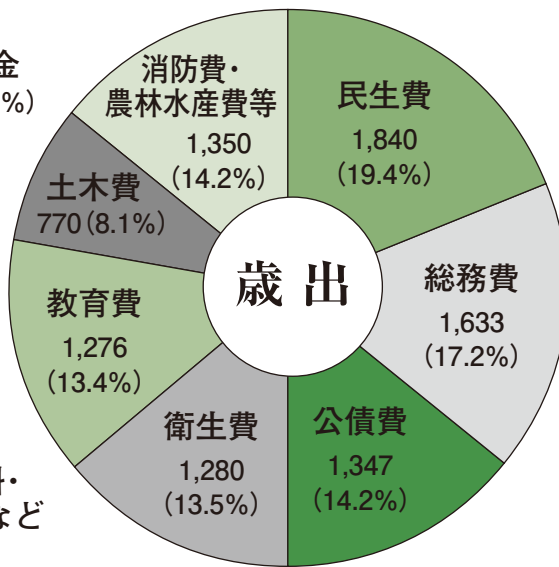
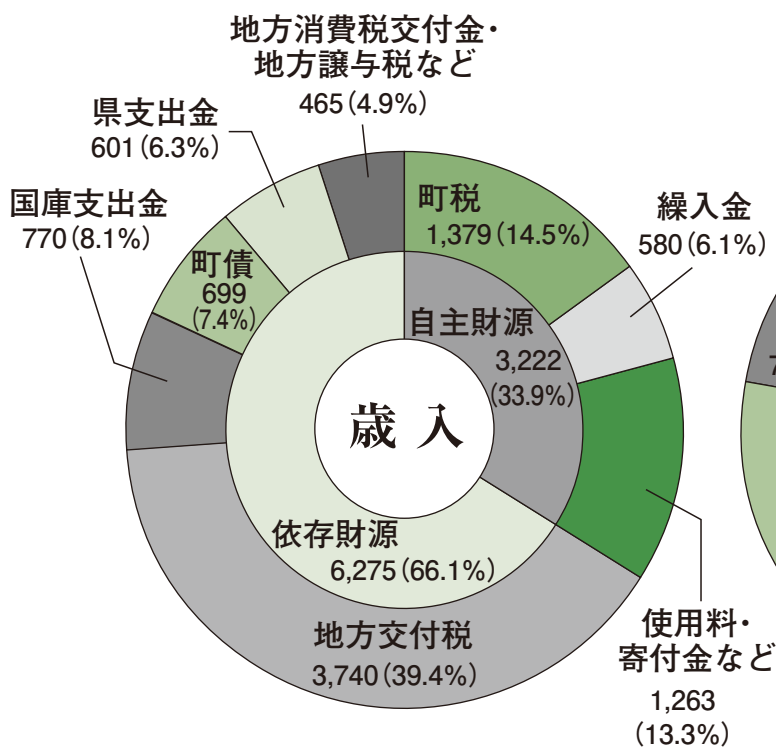
池田小学校長寿命化改修工事設計	1,320万円
福田町民プール解体撤去	1,239万円
幼稚園等遊具整備	566万円
スポーツ振興	470万円
B & G 体育館耐震診断調査	479万円

定住・交流

坂手港再整備事業	6,000万円
地方創生テレワーク拠点整備	2,000万円
浜条地区防火水槽新設	1,672万円
草壁港バス停・駐輪場整備	590万円
ドライブレコーダー設置促進支援	200万円



坂手港再整備事業



(単位は百万円、構成比は%、百万円未満は四捨五入)
※端数処理の関係上、数値が合わない場合がある

付託された予算案件7件について、4日間にわたり委員会審査を行い、次の意見を付して原案通り可決しました。

・小豆島ブランド事業については、長期に及ぶ計画であり、進捗状況に合わせて成果を逐次報告されたい。

審議した主な議案

一般会計（第7号）
補正予算額

8740万円

一般会計（第8号）
補正予算額

▲1億6017万円

公共交通機関への給付金等により増となった一方、新型コロナウイルスの影響により事業未執行等、事業を精査した結果、令和2年度予算は121億53万円となりました。

（総務費）

公民館Wi-Fi整備事業 85万円

避難所となっている公民館11カ所にWi-Fi環境を整備します。

オリーブバス

運営費負担金

1971万円

新型コロナウイルスの影響により利用者激減に対する運営の負担金です。

公共交通等

維持応援給付金

870万円

ロープウェイ、タクシー、フェリー等の利用者数減に対する給付金です。

Q 給付は減収額に依じて行うのか。
A 減収額ではなく一律で行う。

電算システム改修委託料

619万円

納税について、新型コロナウイルス対策及び利用者の利便性向上のため、コンビニ決済及びスマートフォン決済に対応するためのシステム改修費です。

ふるさと納税特産品等

6600万円

手数料

4400万円

ふるさとづくり基金

積立金

1億1000万円

令和2年第4回定例会で補正を行いました。更に大幅な寄付金をいただき、増額補正を行いました。

（衛生費）

公用車購入費

1017万円

老朽化が進んでいるバキュームカーを更新します。

（商工観光費）

Wi-Fi整備費

487万円

小豆島ふるさと村キャンプ場とオートビレッジYOSHIDAにWi-Fi環境を整備します。

国民健康保険事業特別会計（第3号）

1045万円増の

20億123万円となりました。主な要因は、高額な医療費が必要である案件が発生したためです。

介護保険事業特別会計（第3号）

1530万円減の21億223万円となりました。主な要因は事業費の精算見込みによるものです。

介護サービス事業特別会計（第2号）

870万円減の

6394万円となりました。主な要因は事業費の精算見込みによるものです。

人事案件

教育長

現在の教育長である坂東民哉氏について、引き続き教育長となることに同意しました。任期は令和3年5月12日から3年です。



坂東 民哉 氏

教育委員

現在の教育委員である照下あけみ氏について引き続き教育委員となることに同意しました。任期は令和3年5月12日から4年です。



照下あけみ 氏

固定資産評価委員

現在の固定資産評価委員である藪脇修氏について、引き続き委員となることに同意しました。また、塩田洋司氏、三木忠臣氏の後任として、真砂哲氏、山下藍氏が委員となることに同意しました。任期は令和3年5月11日から3年です。



藪脇 修 氏

人権擁護委員

現在の人権擁護委員である渡辺克栄氏および坂元いさ子氏の任期満了に伴い、谷部達海氏及び真砂誠氏を新たに人権擁護委員に推薦することに同意しました。任期は令和3年7月1日から3年です。



谷部 達海 氏



真砂 誠 氏



山下 藍 氏



真砂 哲 氏

工事請負契約

●一般廃棄物最終処分
場整備 貯留堰堤締切
等工事

相手方

株式会社 竹本組

契約金額

6292万円

浸出水処理施設工事
のために待機中であつ
た貯留堰堤の締切を行
う工事です。

契約の変更

●一般廃棄物最終処分
場整備 浸出水処理施
設建設工事

相手方

西原環境・香川舗道
特定建設工事共同企
業体

変更前

10億2300万円

変更後

10億9901万円

現地精査による契約
の変更を行いました。
多数の転石が確認され
たことにより工法の変
更を行ったためです。

その他

辺地総合整備計画

新たに追加された計
画は次のとおりです。

蒲生辺地

橋梁の長寿命化

池田辺地

冷蔵冷凍施設等の整備

橋梁の長寿命化

三都辺地

消防団可搬ポンプ更新

草壁辺地

紅雲亭公衆トイレ更新

発議

議会会議規則の一部を
改正する規則

男女の議員が活動し
やすい環境づくりのた
め、欠席事由および出
産のための欠席期間を
規定するとともに、請
願者の利便性の向上を
図るため、議会への請
願手続きについて改正
を行いました。

3月定例会 一般質問

森 崇 (9P)

- 交通安全対策について
- 瀬戸内海の水質改善について
- 草壁港～高松港航路必要の強い要望について
- 危険空家の対策について

浜口 勇 (6P)

- 新型コロナウイルスワクチンの接種をどう進めるのか

大川 新也 (10P)

- 給食費「公会計化」への考えは
- 飲食店取引先支援を
- 「故郷もりあげ隊」創設を

中松 和彦 (6P)

- 草壁・高松航路の休止、海上交通の将来への方向性と対策は

三木 卓 (7P)

- 本館及び西館入り口にコンシェルジュ（受付対応者）の配置を
- 町広報裏面の「人の動き」に移住者の掲載を

森口 久士 (11P)

- 国際両備フェリー（株）池田・高松航路2便増便に関して
- AEDの設置に関して
- 「二地域居住」の推進に関して

柴田 初子 (7P)

- 教育環境のあり方は

藤本 傳夫 (12P)

- 池田内科クリニックへの対応は
- フェリー最終便に対応するオーリーブバスを
- 町出資一般財団法人の赤字部門の考えは

大下 淳 (8P)

- 中山棚田活性化推進員の担う役割は
- 成人式は中止したのに…

鍋谷 真由美 (13P)

- コロナ対策応援給付金の条件を外せ
- 職員の自衛隊での研修はやめよ
- 内海フェリー休止後の対応は
- 奨学金制度の親権者税完納の条件をなくすべき

安井 信之 (8P)

- 我が町のデジタル化戦略をどう考える
- 小豆島ブランドに対する行政の覚悟は



浜口 勇 議員

新型コロナウイルスワクチンの接種をどう進めるのか

町「ワクチン供給状況に応じ順次案内する」

【質問】 日本でもワクチン接種がスタートした。町民にはぜひワクチン接種を受けてもらいたい。町民へはどんな働きかけをして進めていくのか。

【答弁】 小豆郡医師会と協議し、3月16日から、まず医療従事者約900人の接種が始まり2回目接種が終わるのが4月末の予定である。

島内での高齢者施設の入所者および施設従事者は約1300人で、2回目の接種が終わるのが6月初めである。

後期高齢者への接種は6月中旬から始まるので文章で通知する。



新型コロナウイルスワクチン接種の様子

接種対象は16才以上でワクチン供給状況に応じ順次案内する。生命、健康を損なうリスクの軽減と社会経済の安定につながるので、多くの住民が接種されることを願う。なお、ワクチン接種は強制ではなく、感染症予防の

効果と副反応のリスクの双方を理解した上で接種を受けてもらいたい。周知は広報誌、ホームページ、公民館で掲示する。接種を強要したり、受けていない人に差別的扱いがないように周知する。



中松 和彦 議員

草壁・高松航路の休止、海上交通の将来への方向性と対策は

町「地元自治会の意見を踏まえながら、必要な施策を検討していきたい」

【質問】 人口の減少が止まらず、町の人口が1万人を切ってしまうのも見えてきたように感じる。

町は今、多くの面で活気が減少し、この度の事態も無関係ではなく、海上交通の再編・集約をも考えざるを得ない事態と思うが、町の考えは。

また、航路休止後、影響を受ける町民への対策・草壁港周辺の振興および両備グループとの協議は。

【答弁】 草壁・高松航路の休止問題は、誠に残念な状況と受け止めている。

利用者が被る不便に

については、意見を聞きながら必要な施策を検討していく。港としての機能の維持管理を継続し、町の活性化や魅力を高めることにより、航路事業者の参入もあり得ると考えている。

両備グループとの協議では9月末までの無料送迎バスについては確定しているが、地域振興の諸提案等については地元自治会の意見を踏まえながら今後、必要な施策を検討していきたい。



海上交通の展望は



三木 卓 議員

本館及び西館入り口に

コンシェルジュ(受付対応者)の配置を

町「率先して来庁者に声を掛けるよう指示している」

【質問】 受付の対応をすることで、職員のコミニケーションスキルは磨かれ、人材育成にもつながる。小豆島町集中改革プランには「人材育成の強化」とあり、その文章の中には「より良い行政サービスの提供には、職員一人一人の資質向上が求められます」とも書

かれていて。住民に対しても職員に対してもメリットのある内容だと思うが。

【答弁】 人材育成の強化は、重要施策の一つである。まずは全職員が率先して来庁者に対して声を掛け、気配りをするのが住民サービスの向上につながるも

ので、全職員にそういう指示をしている。また、来庁者に分かりやすいよう総合案内の看板も設置している。全職員がコンシェルジュであるとの意識を持って、よりよい行政サービスの提供に努めてまいりたい。



柴田 初子 議員

教育環境のあり方は

町「いつ小学校を統合するか明示することは、現時点では考えていない」

【質問】 町長の施政方針の中で教育のあり方について

「子供たちにとってどういった教育環境が望ましいか様々な角度から、関係者と協議し、児童数の推移なども勘案しながら方向性を定めていきたい」とある

が内海地区の3小学校統合については数年協議しているが進展はしていない

①統合についての具体案の明示はいつ。
②教育施設の改善は。
③登下校の安全対策は。

【答弁】 ①新型コロナウイルス感染症の感染リスクを回避することができたのは小規模校を維持しているからこそできたメリットだと思

っている。本年2月に開催した総合教育会議で児童数の低下が想定

されるとの報告もあったが町内の出産可能な女性の数が大幅に減少している事実もない。
②3小学校とも1階のトイレは改修を実施した。残りのトイレを含めた環境改善は計画的に実施したい。
③現在、小豆島町通学路等交通安全プログラムを策定し、各校区ごとで交通安全点検を行っている。

【再質問】 ふるさと納税者の45%が教育・文化に活用してほしいとの意向がある。こども議会でも質問のあった街灯の設置等の安全対策への活用は。

【答弁】 積極的に活用したい。

児童数の推移

年度	令和6年度							令和7年度							令和8年度						
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
池田	23	34	34	29	33	15	168	24	23	34	34	29	33	177	26	24	23	34	34	29	170
星城	16	29	17	16	25	25	128	24	16	29	17	16	25	127	20	24	16	29	17	16	122
安田	22	19	19	20	16	21	117	11	22	19	19	20	16	107	16	11	22	19	19	20	107
苗羽	18	14	13	14	16	28	103	7	18	14	13	14	16	82	10	7	18	14	13	14	76
合計	79	96	83	79	90	89	516	66	79	96	83	79	90	493	72	66	79	96	83	79	475

町広報裏面の「人の動き」に移住者の掲載を

町「慎重にならざるを得ず、現状では難しい」

【質問】 ①地域住民は名前を知ることでも声が掛けやすくなる

②移住者は町広報に掲載されることで一町民として認められたことが実感できる

③行政は住民に対して移住施策の実績報告ができる

三方良しでデメリッ

トがないように感じる。掲載を検討されてはいかがか。

【答弁】 現在掲載しているのは、法的な届出に基づいた正確な情報である。移住者については明確な定義がないため正確性が欠ける情報になる。また、移住者

そのものの言葉の表現、移住者だけを特別な存在として取り上げてもいいものなのかの判断、防犯上の観点から単身女性等の掲載の可否等、非常にデリケートな情報であることから慎重にならざるを得ず、現状では難しいと考えている。



大下 淳 議員

中山棚田活性化推進員の 担う役割は

町「棚田や伝統文化の 魅力発信を」

どのような能力やスキルを求めるのか。また、期待する成果は。

増加を目指してもらいたい。

【答弁】 棚田は国土の保全、水源の涵養、美しい景観の形成など、国民共有の財産である。しかしながら、その生産効率の悪さから全国的に荒廃の危機にある。地域おこし協力隊員ならではのアイデアや想像力に期待したい。現状や課題把握のため実際に棚田耕作や保全活動に従事していただく。

【再質問】 棚田の活性化事業はまさに地域に根付いた事業である。棚田活性化推進員の住むところは中山地区に求めることで交流と事業がスムーズに行えると思うが。

【答弁】 まさにこの事業は地域に根付いた活動で地域の皆さんとの交流が重要であることから、推進員となる方も中山での居住を希望されている。

町としても地域の方と良好な関係が築けるよう配慮しつつ棚田の活性化に努めたい。



棚田と虫おくり

他の質問事項

「成人式は中止したのに…」



安井 信之 議員

我が町のデジタル化戦略をどう考える

町「国の標準化に向けて同一歩調で行ける計画で進めている」

【質問】 デジタル化によって住民サービスの向上を図るべきだ。

【答弁】 国は今年9月のデジタル庁発足に向けて、国、地方公共団体の情報システムを見直し、行政サービスの向上を進める動きが始まっている。

行政サービスでデジタル技術やデータを活用することは、住民の利便性向上を図るだけではなく、業務の効率化や人的資源の行政サービスの向上に効果がある期待できる。

教育現場では、児童・生徒に1人1台のタブレットを導入し、情報活用能力を育成できるように取り組んでいく。また、ふるさと村のワインハウスを活用したコワーキングスペースやサテライトオフィスの整

備、企業誘致や移住促進を図るための空き家改修に併せてWiFi・環境整備といった通信設備を整備する。

情報システム標準化については、国民健康保険事業における事務処理標準システムおよび住基、税、福祉を中心とした基幹系システムのバージョンアップ

を令和3年11月に予定している。デジタル化を進めるためには住民の皆様がマイナンバーカードの取得をしていただくことが前提となる。令和7年度の国の標準化に向けて同一歩調で行ける計画で進めている。

小豆島ブランドに対する行政の覚悟は

町「関係機関と連携しながら事業を実行していく」

【質問】 島の観光団体の一本化した抜本的な改革をするべきだ。

【答弁】 小豆島ブランド

への取組は、島が一体となって取り組む事業となっている。

島の経済を支える商品産業と、島のイメージを育てる観光産業の連携を強化し、関係機

関と連携しながら事業を実行していく。小豆島の観光については、情報を一元化して発信すべきであるが、現時点において観光団体の一本化は難しい。小豆島ブランド推進事業で、観光団体の一本化への機運が高まることを期待したい。



森 崇 議員

交通安全対策について

町「インフラ整備・管理など
安全対策を行っている」

【質問】 1月末に行われた小学生議会で交通安全について質問があり、町は「自動車や歩行者が安全に通行できるように議員や自治会長の意見を聞きながら工事を進めている」と答弁された。香川県は10万人当たりの交通死亡事故が全国ワーストワンである。小豆警察署の資料では、草壁・池田間・10年間の事故が146件あり驚いた。また、小豆島ヴィラの町道も危険な所もあり改善が必要だと思うが。

活の重要な施策と位置づけ整備、管理など交通安全対策を行っている。事故は道路施策に起因してはいないと聞いているが、県も国道の改善を順次行っている。町道などは町単独費の増額を考えている。

【答弁】 道路、橋梁など社会インフラ整備は生

瀬戸内海の水質改善について

町「関係機関と連携して
実施すべきことを講じていく」

【質問】 今年の2月、市議会議長会が瀬戸内海再生の水質改善などを県に要望したようだ。以前同趣旨の質問に町は「瀬戸内海は小豆島町だけできれいにすることはできない」との答弁であった。今回は水質改善のチャンスだと思うが。

【答弁】 瀬戸内海は豊富な水質資源に恵まれていたが、工場排水、生活排水が大量に流入し、赤潮や漁業被害が頻発した。現在、国が水質規制から管理に転じている。短期間で成果は現れないので関係機関と連携して実施すべきことを講じていく。

草壁港～高松港航路 必要の強い要望について 町「国の具体的な施策を 調査研究していく」

【質問】 単に不便になるだけでなく町の将来性が問われる大問題で企業も本心に心配している。両備グループの代表は「公共交通がなくなればその地域は寂れる」と捉えている。航路も公共交通でありその通りだと思う。
昨年12月に成立した法律改正の判断を再度示していただきたい。
また今回、航路存続の署名は3247人分集まった。1月の決起集会には、寒い中600人以上が参加した。この航路は国が指定し知事が承認した「指定航路」である。以前、細田衆議院議員が国会で「航路も道路でしよう」と発言された。観光のためにも航路は大切だと思うが。

【答弁】 昨年の12月に成立した「交通政策基本法」の中でも特に16条では、通勤・通学・通院その他の人または物の移動が円滑に行うことのできるよう、離島に関わる交通事情に配慮しつつ、交通手段の

確保その他必要な施策を講ずるものとされている。
町としては、法改正の理念と実現のための

事項について歓迎するところであり、国の今後の具体的な施策を十分に調査研究していく。

危険空家の対策について

町「今後、対策協議会で検討する」

【質問】 強風により、古い家の瓦等が飛び通行人に当たる心配がある。老朽危険空き家除却支援事業では「風呂やトイレが無ければ対象外」とのことだが改善はできないのか。

【答弁】 県の補助制度にのっとった事業であり、町単独では難しい。今後、小豆島町空き家等対策協議会で検討する。



ありがとう！ブルーライン！ 再会を願いテープで見送り

給食費「公会計化」への考えは

町「令和4年度から町による徴収・管理業務の実現に取り組む」

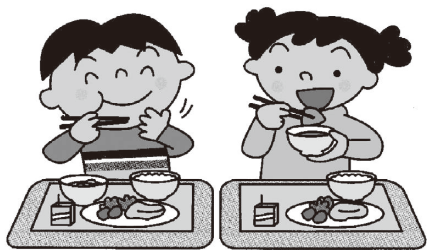


大川 新也 議員

【質問】 昨年11月文科省

発表で公立学校での給食費を自治体の会計に組み入れる「公会計化」を実施しているのは、全国で26%にとどまっているとあった。

県内では実施3、検



討・準備中10、予定なし6団体だ。

「公会計化」で徴収業務や滞納者への督促が自治体の役割となり、教員の働き方改革につながる」と期待される。

支障要因としてはシステム導入、改修の経費、人員確保、個々の徴収金額相違、管理業務の複雑化等がある。

町内何校かへの聞き取りでは、現在徴収は金融機関での口座振替方式ではあるが、管理はあくまでも学校の対応との状況である。本町の現状と今後の考えは。

【答弁】

令和元年7月に文科省から給食費の徴収に関して「公会計化」の推進が発出され、自

治体自らの業務として行い、教員の業務負担を軽減するよう通知があった。

本町においては、町が徴収・管理業務を行っている。業務に関しては学校事務員が行

飲食店取引先支援を

町「国、県の動向を見ながら検討」

【質問】 コロナ禍の中、

町内飲食店へ持続化給付金等の支援策は行ってきたが、飲食店取引先支援は不十分ではないのか。

国は1月に緊急事態宣言に伴う時短要請に応じた取引先に支援、また県は2月議会に独自の給付金制度を補正予算追加上程される。本町として1月に国が発表した時点で他の自治体より先駆けて支援策を打ち出せたのではないか。

っているが、未納があった場合は督促等、担任の負担になっていた。先行する他市町の状況も参考にし、令和4年度から町による徴収・管理業務が実施できるよう取り組む。

【答弁】 今なお収束の見通しが立たないコロナ禍の中で、観光消費への依存度が高い業種は、深刻な状況に置かれている。

町では事業者の事業継続や雇用の維持に向け、飲食店取引先も含めて町独自の持続化給付金や観光関連者応援給付金など支援を行ってきたが、今後の国、県の動向を見ながら検討していく。

「故郷もりあげ隊」創設を

町「有効な施策と考え検討する」

【質問】 令和3年度、新

たに5人の地域おこし協力隊員を採用すること、あくまでも対象は都市地域からの移住者である。

町独自での地元出身の若者を受け入れて地域を盛り上げる「故郷もりあげ隊」をUターン希望者を対象に創設しては。

また、集落支援員制度も国が奨励しており、Uターンの受け入れも検討しては。

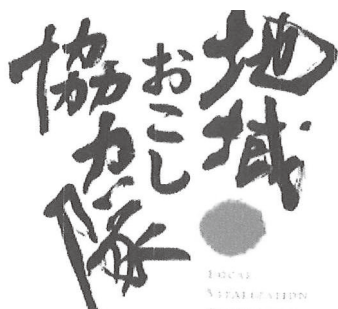
【答弁】

本町の最大の問題は、少子高齢化による人口減少であり、さらなるU・I・Jターンの増加が必要だ。

特に、町出身者の若者の活躍は「人が集い、元気な町」の実現に向けて欠かすことのでき

ないことである。

町の課題解決と活力あるまちづくりに向け、「故郷もりあげ隊」の提案は地元出身の若者の発想や行動を生かす有効な施策と考えられる。Uターン者を対象とした地域おこし協力隊の募集について前向きに検討していく。併せて集落支援員についても今後研究する。





森口 久士 議員

国際両備フェリー(株)

池田・高松航路2便増便に関して

町「四国運輸局長に慎重な対応をお願いした」

質問 2便増便申請を阻止すれば航路存続が可能になると本気で考えたのか。経緯と活動の根拠は。可能性とは。赤字補填の策は。

社全体の経営の中で対応できる旨を聞いている。港としての機能が確保されている間は、僅かでも可能性が残されていると考えている。

答弁 2便増便申請が認可された場合、同じく法の指定区間である草壁・高松航路の継続が難しくなり、地域住民が日常生活等を営むために必要となる船舶による輸送が適切に確保されなくなると考えられた。法の趣旨に鑑み、四国運輸局長に慎重な対応をお願いし、存続に向けた支援と配慮をお願いした。

再質問 草壁航路の存続が難しくなる本当の理由は、高松港の発着に関する事業者間の申し合わせがあり、今以上にダイヤが増やせないのでは。航路事業者に申し合わせを変えて頂くよう働きかけたか。

再質問 住民会議や特別顧問を務める推進会が町民の総意と言っている。町長はなぜ町民の総意と言わないのか。

答弁 多くの住民の声が草壁航路の存続であったという事実であると考えている。

再質問 両備グループとの話し合いで住民会議の代表者の複数から池田航路を止めて草壁に集約しろといった内容の発言があったのか。

答弁 池田へ集約の話の中で草壁・高松航路を残したいので、発言はあった。

AEDの設置に関して

町「多くの方が救急講習を受講できるよう普及啓発に努めていきたい」

質問 講習会等を開催しているのか。自治会の避難訓練の時に活用しているのか。大勢の人が使用できる体制にすべきでは。

答弁 大勢の人がAEDを使用できるよう、ソフト面での充実を図るべく、これまで以上に消防本部と連携協力し、多くの方が救命救急講習を受講できるよう普及啓発に努めていきたい。

二地域居住の推進に関して

町「コワーキングスペースやサテライトオフィスを整備」

質問 地方移住や関係人口増を促すため、本町としてはどのような対策を考えているのか。

イトオフィスを整備する。

答弁 小豆島ふるさと村ワインハウスに移住やワーケーションを促進するためのコワーキングスペースやサテラ

全国二地域居住等促進協議会が3月9日に設立した。全国各地の多種多様な情報が収集できることから、本町も会員になることとし、設立総会にウェブ上で参加した。



増便された池田・高松間航路

池田内科クリニックへの対応は

町「引き続き運営を

お願いしたい」



藤本 傳夫 議員

【質問】旧池田町が建設

し、運営を八木氏に依頼した診療所である。

町が合併し、小豆島中央病院が開院したが医師が不足している現在、

池田地区の住民にとってかかりつけ医として大切な存在である池田内科クリニックをどうする意向か。

【答弁】小豆島

は全国的にも医師が少ない地域である。



池田内科クリニック

フェリー最終便に対応する
オリーブバスを
町「計画策定の中で十分に協議、
調査研究していく」

【質問】4月から国際両

備フェリー(株)の最終便と小豆島フェリー(株)の最終便に対応するオリーブバスの運行を土庄町・オリーブバスと協議し実現を。

【答弁】現在、地域住民や小豆島町、土庄町各

分野の方々と組織する小豆島地域公共交通協議会で、小豆島地域公共交通計画の策定に取り組んでいる。フェリー最終便に接続したバスの運行は、計画策定の中で十分に協議、調査研究していく。

町出資一般財団法人の

赤字部門の考えは

町「施設を一体的に管理することで、
効率的、効果的な運営が可能と考えている」

【質問】オリーブ公園や

ふるさと村のいろいろな部門がある中で、赤字部門も多いと聞いている。すべての事業を

自ら経営し、総合的な効果を発揮するのにもよいが、赤字部門は民間委託も考えては。



サン・オリーブ

【答弁】両施設の管理は

令和3年度からの5年間を指定管理期間とし、

町出資法人を指定管理者としてしている。両財団はそれぞれの施設を一体的に管理することで、

効率的、効果的な運営

が可能になると考えて

いる。町の施策との整合性も勘案しながら、

利用促進や情報発信、経費節減などの努力を重ね、地域活性化に資する施設となるよう検討を進める。

コロナ対策応援給付金の

条件を外せ

町「税の公平性から要件としている」



鍋谷 真由美 議員

【答弁】 県の介護施設等

【質問】 新型コロナウイルス感染症拡大を阻止するには無症状感染者を把握する検査、特に医療機関、介護・福祉施設、高齢者などへの社会的検査、また、事業者や困窮している子育て世帯、若者などへの支援が必要。

応援給付金に、税の完納要件があるのは問題であり外すべきだ。少なくとも、分納をしている人は、給付を行うべきではないか。

町「能力向上につながる」

やめよ

【質問】 なぜ、今、自衛隊での研修なのか。

職員と自衛隊員では求められる資質は正反対であり、職員の能力向上にはつながらないと考える。自衛隊での研修はやめるべきと考えるがどうか。

【答弁】 過去にも実績があり、災害などにおける危機管理能力を養う上では意義ある研修であり、能力向上につながるものと考えている。

職員の自衛隊での研修は

奨学金制度の親権者

税完納の条件をなくすべき

町「公平性の観点からも必要」

【質問】 奨学金は、学生が自立して学ぶことを支援するために学生本人に貸与されるものであり、親権者に町税等の滞納があることで貸与しないのは人権無視ともいえる。制度の改善をもとめる。

【答弁】 奨学金は、高額な貸し付けで、連帯保証人となる親権者に滞納がある方に貸し付けることは、町民の理解を得にくく公平性の観点からも必要である。

内海フェリー休止後の

対応は

町「草壁港を守ることで再開の可能性は残される」

【質問】 内海フェリーの休止を受けて、町民は新規航路を求めて運動しているが町としてできることはないのか。

池田港での駐車場の整備、オリーブバス利用で負担増となる町民への支援、すべてのバスをターミナル前停留所に停車させるなどできないのか。

駐車場の活用で対応、4月以降の利用状況を調査研究し、必要となる整備を検討したい。

オリーブバスの運賃の新たな支援策は考えていない。池田港ターミナルへの集約は、オリーブバス関係者等と協議、検討したい。

【答弁】 交流人口の拡大や産業の活性化、文化活動の推進を図り、町と島の魅力を高め、海の復権を目指すことでその可能性を高め、草壁港という社会インフラを守ることで、再開の可能性は残される。

町有の埋立地の臨時



池田港の駐車場整備を

1月29日に4小学校の代表者12人が小学生議会に参加しました。1回目は池田小学校、2回目は安田小学校、3回目は苗羽・星城小学校の児童が小学生議員となり、町に対して、子どもの視点からみた町づくりに対する質問を行いました。



やまもと あ こ (安田)
山本 藍子 議員

質問 草壁港着 19 時の便だと福田に帰る時に安田で 1 時間以上待たなければならない。バスの便の時間を変更してはどうか。

答弁 バスは多くの人に利用してもらうことが大切である。すべての船の便に対応するのは難しいが、できることから改善していきたい。現在、新しい計画づくりに取り組んでいる。



だ て きよしろう (池田)
伊達清志郎 議員

質問 きれいな歩道や路だと自然をより体感できると思う。どのような基準や判断で道路の改修を行っているのか。

答弁 安全に通行できる道を作ることが最も大切に行っている基準の 1 つである。予算に限りがあるので、優先順位をつけて道路の改修の判断を行っている。



きた の かおる (安田)
北野 薫 議員

質問 プロジェクションマッピングや年間を通した祭等、滞在型の観光地を目指せば、今以上に町が明るくなるのではないかな。

答弁 冬の観光客の落ち込みは長年の課題であり、島にしばらく滞在したくなる体験メニューが大切だと考えている。今回の貴重な提案は参考にさせていただく。



やました ゆ あ (池田)
山下 弓絢 議員

質問 世界中で新型コロナウイルスが問題になっているが、小豆島町ではどのような対策をしているのか。

答弁 玄関で検温し、体調が悪いときは休むようにしている。窓口に仕切り板を置いて、飛沫防止対策を行っている。また、影響の大きい飲食店等を応援する制度を設けている。



おかもと み な み (安田)
岡本実那美 議員

質問 空き家を利用した動物カフェを作ってはどうか。また、その際にジビエ料理を提供すれば健康につながるのではないかな。

答弁 ジビエ料理は衛生管理が必要であり簡単な問題でないが、町に賑わいを与え、笑顔あふれる小豆島につながると思うので、貴重なご意見として今後の取り組みの参考とさせていただく。



やす い た いち (池田)
安井 太一 議員

質問 ネット依存症や少子高齢化を防ぐとともに、アスリートの輩出や高齢者の長寿のためにスポーツパークを建設してはどうか。

答弁 町内にはたくさんの施設があり、大規模なスポーツ施設を建設する予定はない。今ある施設のグレードアップを含め、利用者の要望も聞きながら検討していく。



安田小学校の小学生議員



池田小学校の小学生議員



町内4小学校による 小学生議会



かまだ ゆうと (星城)
鎌田 優人 議員

質問 職場に障害に詳しい人を配置し仕事を割り振る仕組みがあれば企業も雇用しやすくなり、障害者も安心して働けるのでは。

答弁 障害者が働きやすい仕組みづくりを進めることは、大変いい意見である。就労支援の取り組みを充実させ、安心して過ごせる町にしていきたい。



もりした まさはる (苗羽)
森下 正陽 議員

質問 小豆島の産業について学ぶ専門学校をつくると、島の産業に関わる人が増え、発展にもつながると思うがどうか。

答弁 学校をつくることはお金や学生の確保など課題が多く難しい。将来、みんなが進学や就職で島を離れた時に、小豆島のPRを行うことが島の発展や活性化につながる。



こばやし ひさき (星城)
小林 尚貴 議員

質問 LGBTの方が安心して生活していくためには、正しい知識を知ってもらうことが大切である。町の広報誌で特集を組んでみてはどうか。

答弁 ここ数年、LGBTに関する理解が大きく進んできたが、はたつと社会参加できる環境には至っていない。ご提案のLGBTに関する特集について、早い時期に実現したい。



たつみ たいが (苗羽)
辰巳 大雅 議員

質問 いろいろな世代の人たちが楽しめる公園をつくと小豆島町が目指している「人が集い、元気なまち」になると思うが。

答弁 新たに公園をつくることは多大な費用がかかるので簡単でない。今ある公園を最大限利用してもらいたい。施設に対する意見を参考に、より利用しやすい施設づくりを心掛けていく。



きくに たてみつ (星城)
喜國 健史 議員

質問 ふるさと納税の寄付金が、どのようなことに使われているのか。学校教育に活用することはできるのか。

答弁 寄付の使い道については、寄付者の意向に応じて活用している。教育関係については、各幼稚園・小学校・中学校のトイレの改修やエアコンの整備に活用している。



やまぐち ようへい (苗羽)
山口 陽平 議員

質問 街灯はどういう基準で設置されているのか。また、不足しているところには早急に設置してはどうか。

答弁 街灯の設置や管理は、県や町、商工会また自治会が行っている。また、各個人が街灯を設置する場合は補助を行っている。不足している場所は自治会へ相談してもらいたい。



苗羽・星城小学校の小学生議員

教育民生常任委員会

2月16日、教育民生常任委員会を開催しました。

初めに教育委員会よりコミュニケーション・スクールと地域学校協働活動、GIGAスクールの進捗状況、望ましい教育のあり方について説明を受けた後、健康づくり福祉課より新型コロナウイルススワクチンの接種に向けた準備について説明を受けました。

苗羽小学校の児童数が大幅に減少しており、古くなった内海地区の小学校問題も合わせて検討するべきでないか等の意見が出されました。



全員協議会

3月17日、全員協議会を開催しました。

初めに総務課より公職選挙法が改正されたことによる選挙活動の変更点について説明を受けた後、香川県広域水道企業団小豆ブロックセンターより令和元年度事業の報告を受け、令和3年度に行われる事業について説明を受けました。

水道工事として、引き続き草壁・寒霞溪線の水道管修繕や福田の浄水場整備等が予定されているとのことでした。



議会日誌

1月～3月までの主な議会活動についてお知らせします。

3 月	2 月	1 月
17日 全員協議会 本会議3日目	26日 総務建設常任委員会 小豆地区広域行政事務組合定例会	29日 小学生議会 小豆郡町議会議長会
16日 広報編集特別委員会 本会議2日目	25日 議会運営委員会 全員協議会	26日 広報編集特別委員会 全員協議会
10日 教育民生常任委員会 議会運営委員会	24日 香川県離島振興市町村議会議長会定例会	20日 教育民生常任委員会
9日 総務建設・教育民生連合審査会	22日 香川地域活性化特別委員会	19日 広報編集特別委員会
8日 総務建設・教育民生連合審査会	16日 教育民生常任委員会	
5日 総務建設・教育民生連合審査会	15日 小豆郡町議会議長会	
3日 本会議1日目		

編集後記

コロナ禍の中、議会も人との空間のとりかたに、頭を悩ましています。議場でも隣の席との間に透明の仕切りを立て、休憩時には窓換気を行っています。

6月頃から小豆島町内でもワクチン接種ができそうです。

コロナがなくなることは考えられませんが、コロナと長くつきあうつもりで、普段の生活に気をつけていきたいと思います。

藤本傳夫 記

本紙に対する
お問い合わせは

■発行 小豆島町議会 ■編集 小豆島町議会広報編集特別委員会

〒761-4492 香川県小豆郡小豆島町片城甲44-95 TEL(0879)82-7060 FAX(0879)82-7061
E-mail olive-gikai@town.shodoshima.lg.jp